

浦幌町立博物館だより

2022(令和4)年11月号



編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp

「K-Pg境界」をはぎとって標本に



北海道博物館の地学担当学芸員。
(左：圓谷、右上：久保見、右下：成田)



地層に固着用の薬剤を塗布して乾燥させ、徐々に剥ぎ取っていく。



浦幌町茂川流布川でみられるK-Pg境界(矢印)。黒い線のような地層の右下(川下)側が白亜紀の地層。

K-Pg境界とは？

いまから6600万年前、メキシコのユカタン半島付近に小惑星が落下し、恐竜やアンモナイトなど、当時繁栄していた生物が大量に絶滅してしまいました。

こうして白亜紀という時代が終わり、古第三紀という新しい地質時代が始まります。このふたつの時代の境界線となる地

層、すなわち小惑星が地球へ衝突した瞬間の地層を、東アジアでは唯一、浦幌町の茂川流布川(もかわるっぶがわ)で見ることができます。

北海道博物館から久保見幸(くぼみ こう)氏ら3名の地学が専門の学芸員が10月に来町し、この地層をはぎとって標本化する作業を行ないました。結果の詳細はあらためてご報告いたします。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています！

もうひとつのエトピリカ剥製



常設展示室に、豊北海岸で保護された、絶滅危惧種の海鳥エトピリカの剥製が展示されています。

実はこれとは別に、収蔵庫にもう1個体のエトピリカの剥製が収蔵されています。おそらく1970年代のことと思われるが、沖で漁師さんの網にかかってしまった個体と記録されています。十勝沿岸にもエトピリカが飛来したことを示す、貴重な標本です。

種の保存法にもとづき、近く環境省へ所蔵する届け出を行う予定です。
(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

『孤独と不安のレッスン よりよい人生を送るために』



鴻上尚史 著 2006年6月 大和書房発行
文庫 238頁

ひとりぼっちが辛いと感じたことはありませんか？

本書は、孤独の価値と素晴らしさを語った本です。

一人でいるのが怖い、一人でいるのは恥ずかしいという気持ちは、ただの「思い込み」でしかないと教えてくれます。

この本を読むと、一人でいることに対する考え方や、自分に対する向き合い方が変わるかもしれません。

(浦幌町立図書館 司書 山崎菜摘)

【配架場所】

一般書・文学

分類記号914.6コ



11月の博物館お知らせ

お知らせとお詫び

4月1日より、職員数が減少となったため、土日祝日の展示室への職員配置ができない場合があります。また、電話がなかなかつながりにくいこともあります。職員不在の際は、となりの図書館カウンターへご伝言ください。ご迷惑をおかけいたしましたして申し訳ありません。

企画展

北村薫写真展 まちはアルバム

10月10日(月・祝)

11月5日(土)

10:00~18:00

場所:博物館特別展示ホール

釧路市音別町で、生まれ育った町の変化を写し続けてきた写真家、北村薫氏の写真展。

写真が持つ記録性と芸術性を感じられる作品の数々をご紹介します。

来年の音別~浦幌鉄道開業120年を前に、お隣のまち「音別」を写真でみつめてみます。



帯広百年記念館移動展

アイヌ文化パネル展

11月12日(土)

11月27日(日)

10:00~18:00

最終日は午前中で終了。

食糧、被服、舞踊など、さまざまな面で独特の伝統を持つアイヌ文化について紹介するパネル展。浦幌町を皮切りに、十勝8会場を巡回展示します。

場所:博物館特別展示ホール

帯広百年記念館運営連絡協議会主催・浦幌町立博物館共催



移動博物館

秋の渡り鳥観察会

11月3日(木・祝) 9:00~12:00

集合: 9:00 博物館

講師: トリおばさん

定員: 8名



南へ帰る渡り鳥、マガンやヒシクイ、シジュウカラガンやハクガンを探しながら観察します。

月例調査観察会

豊北植物調査会

日時: 11月5日(土) 9:00~12:00

集合: 浦幌町立博物館

定員: 8名(電話・メールで申込受付)

※自家用車利用の方は申込不要です。

※今季最後の観察会になります。



入館料: 無料

開館時間: 10:00 ~ 18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員: 1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

11月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

休館日: 月曜日・祝日の翌日

30日(水)は資料整理日で休館です。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車...約1時間
池田駅より普通列車...約30分
釧路駅より普通列車...約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)
釧路~浦幌間 1680円(片道)

【運賃】 駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ: 電話 015-576-2009
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(図書館併設・役場となり)
E-mail: info@museum-urahoro.jp / https://museum-urahoro.jp